

三俣山荘における登山者参加型講習会の充実化計画

代表者 亀井 美里 (医学部医学科 3 年)

1. 目的と概要

三俣診療班が毎年山荘で行っている登山者を対象とした講習会に、昨年度はなかった「心肺蘇生講習会」を新たに加え、登山者参加型の講習会の充実化を図るとともに、その準備を通じて、教える学生側も医学部生に必須な心肺蘇生の知識と技術を習得する。

2. 実施期間（実施日）

平成 29 年 7 月 24 日から 平成 29 年 8 月 24 日まで

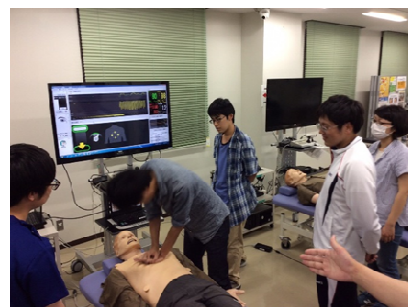
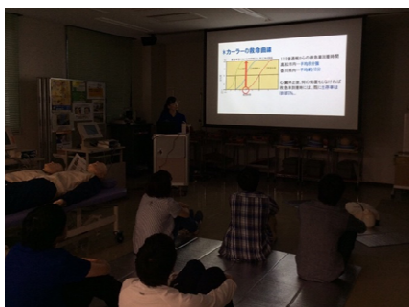
3. 成果の内容及びその分析・評価等

本プロジェクト実施にあたり、主に以下の物品を夢プロジェクトのご支援で購入させて頂き、これらの物品を用いて部内勉強会と三俣山荘での心肺蘇生講習会を行った。

主な購入物品		
物品	数量	備考
AED トレーナ 2	1	練習用 AED
ミニアン Plus 単品(バック付き)	2	心肺蘇生用マネキン
改訂第 3 版 BLS : 写真と動画でわかる一次救命処置	1	図書

① 部内勉強会

2017 年 6 月 29 日（木）に、「香川大学学生 ACLS 勉強会」のご協力の下、部内で心肺蘇生の勉強会を行った。本勉強会では、倒れている人を発見した際の対処法、具体的には「胸骨圧迫」や「人工呼吸」、「AED の使い方」などの知識や手技を習得するとともに、受講者への教え方も学び、山荘での心肺蘇生講習会に備えた。



② 三俣山荘における心肺蘇生講習会

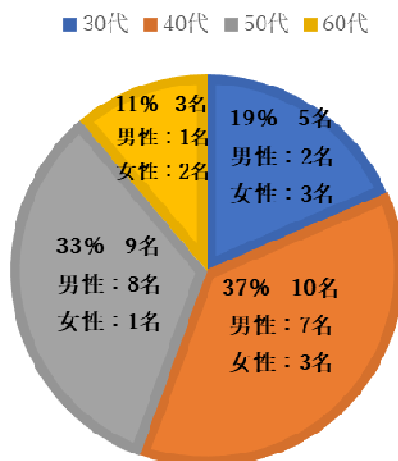
2017年8月14日（月）に、三俣山荘にて、一般登山者向けの「心肺蘇生講習会」を実施した。講習会には30～60代までの男女合わせて27名の方が参加して下さい、過半数の方が心肺蘇生の講習会への参加経験が一度もないという中、8割以上の方に満足だったとご回答を頂ける講習会となった。「実際に胸骨圧迫の練習ができて良かった」（アンケートより抜粋）とのコメントも頂くことが出来、心肺蘇生用のマネキンとAEDトレーナーは、登山者参加型の講習会の実施に大いに役立ったと考える。以下、講習会後に取らせて頂いたアンケートの集計結果を記す。

〈参加者アンケートの集計結果〉

(1) 参加者の男女構成

男性 18名/女性 9名 計27名

(2) 参加者の年齢構成

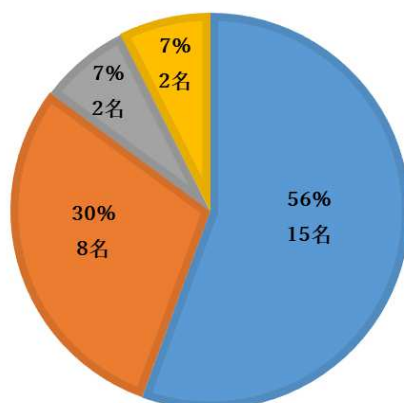


(3) 参加者の出身地

東北地方	宮城県	1名						
関東地方	東京都	8名	神奈川県	6名	栃木県	2名	埼玉県	1名
	千葉県	1名						
中部地方	愛知県	2名	岐阜県	1名	福井県	1名		
近畿地方	大阪府	3名	兵庫県	1名				

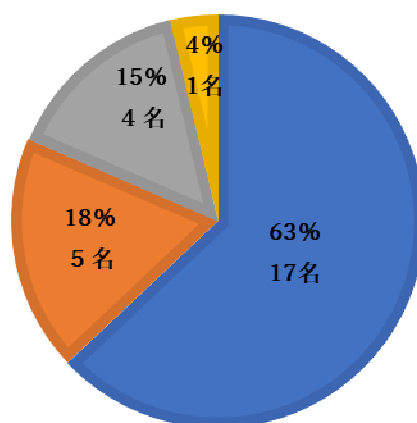
(4) 心肺蘇生講習会への参加経験数

■ なし ■ 1回 ■ 2回 ■ 回数不明・3回以上



(5) 心肺蘇生講習会の満足度

■とても満足 ■やや満足 ■普通 ■無回答



(6) 参加者の声

- ・ 止血、ねんざ等の対応やテーピングについても講習会をしてほしい。(東京都・40代男性)
- ・ 初めて AED の使い方が分かりました。(東京都・30代女性)
- ・ マンションの防災訓練に AED も取り入れたいと思った。(東京都・40代男性)
- ・ とても参考になりました。いざとなった時に自分が出来るか不安ですが、努力します。(東京都・50代女性)
- ・ わかり易くとても為になりました。(東京都・50代男性)
- ・ 非常に参考になりました。(東京都・60代男性)
- ・ ケガ等の講習会もしていただけると助かります。(神奈川県・50代男性)
- ・ 実際の機会がないので、忘れないために時々受講したい。(神奈川県・50代男性)
- ・ 短い時間の中で、ためになりました。もしできればいろんな資料を簡単にまとめてもらえたらいいなと思いました。(神奈川県・50代女性)
- ・ マネキンを使った実習でよい経験ができました。しかし、現実に生身の人間の場合に素人が行動できるか不安は残ります。(神奈川県・50代男性)
- ・ 診療所が多忙でない時に、このような形で講習会を行うと、お客さんにも医学生にもためになってとても良いと思います。CPR (心肺蘇生) は素人に一分一秒をあらそう心室細動などでもやもや動いている時でも積極的に CPR、AED を使用するようによくご指導ください。(埼玉県・50代男性・医師)
- ・ 山でいざという事に出会った時の心構えになりました。(愛知県・40代女性)
- ・ 実践的な内容で参考になりました。(愛知県・30代男性)
- ・ 知らない事が勉強できて大変ためになりました。(岐阜県・40代男性)
- ・ 実際に胸骨圧迫の練習が出来てよかった。(大阪府・50代男性)
- ・ AED の使い方について学べてよかった。(大阪府・30代男性)
- ・ 現実にこのような事がありいざという時に出来るかどうか、今日の経験が生かされると良いですね。血流が第一！と分かりました。(神奈川県・60代女性)



4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

「心肺蘇生講習会」の実施は、香川大学三俣診療班の活動を、11 都道府県に渡って広く知って頂く大変良い機会となり、香川大学の知名度アップに大いに繋がったと考えている。またいざという時の心肺蘇生法を、より多くの方々に習得して頂けたことは、3 大山岳死因の一つである登山中の心臓突然死の救命率向上に繋がる一助になるのではないかと思う。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

講習会の準備と実施を通じて、我々自身も医学生が知っておくべき心肺蘇生を学び身に付けることができた。また学んだ知識を自己完結で終わることなく、講習会で身に付けた知識を一般の方々にお伝えするという事を通じて、さらに自分の理解を深めることができ、今後医学の勉強をしていく上での大きなモチベーションの向上にも繋がった。

6. 反省点・今後の抱負（計画）・感想等

今年度新たに登山者参加型の「心肺蘇生講習会」を開催する事で、山荘における登山者参加型の講習会の充実化を図ることができた。今後とも、登山者の方々が正しい心肺蘇生法を実習形式で学べる機会を提供し、また学生も正しい心肺蘇生の知識や手技を継続して身に付けていく為に、この講習会をしっかりと下の代へと引き継いでいこうと考えている。

7. 実施メンバー

代表者 亀井 美里 (医学部3年)

構成員 川口 智恵子 (医学部3年)

小澤 徹 (医学部3年)

山口 勇将 (医学部3年)

山本 紗由美 (医学部3年)

大石 りか (医学部2年)

舟木 大地 (医学部2年)

八木 宏樹 (医学部2年)

高島 堯 (医学部3年)

忠地 駿 (医学部3年)

松内 威路 (医学部3年)

伊藤 翔吾 (医学部2年)

橋本 靖江 (医学部2年)

天満 翔一郎 (医学部2年)